

認定こども園荒島の概要

(令和5年10月1日時点)

施設名	認定こども園荒島		施設の種類		幼保連携型認定こども園		
所在地	荒島町３５０８		電話番号		０８５４－２８－８４１６		
受入年齢	１歳～		設置者		安来市		
利用定員	１号認定	１９名	２・３号認定	８０名	合計	９９名	
入所児童数	０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
	－	９名	１２名	１４名	１０名	１３名	５８名
開所時間	７：００～１９：００						
教育標準時間 （１号認定）	８：３０～１４：００						
保育標準時間 （２・３号認定）	７：００～１８：００						
保育短時間 （２・３号認定）	８：３０～１６：３０						
実施事業	☒ 延長保育 ☒ 預かり保育 ☐ 一時預かり ☐ 休日保育 ☐ 病後児保育						
職員配置	園長１名、保育教諭９名、調理員２名						
施設の概要	鉄筋コンクリート造平屋建て、園舎面積 1177.25 ㎡、園庭面積 2560.00 ㎡、乳児室面積 60.00 ㎡、ほふく室面積 0.00 ㎡、保育室面積 364.00 ㎡、遊戯室面積 216.00 ㎡、敷地面積 4864.00 ㎡						
保育料	安来市が市民税額等に応じて決定した利用者負担額						
利用者負担、その他の費用	延長保育料（２・３号） １００円／３０分 預かり保育料（１号） ２００円／１時間 保育用品 年額３，０００円程度 給食費（１号副食費）月額３，２００円（おやつ代は別途・主食は持参） 給食費（２号副食費）月額４，５００円（おやつ代含む・主食は持参） 保護者会費 月額５００円 行事等にかかる費用は実費						
教育理念 保育方針 保育内容等	【教育・保育方針】 ○健康で安全な生活を送ることができるように生活習慣や態度を身につける。 ○自分の思いや考えを表現できる力を育むと共に相手の個性や違いを受け入れ大切にできる力を育てる。 ○保護者の意向を理解・受容し、様々な機会を捉えて適切に援助する。						

施 設 の P R	市内の最西側に位置し、近くには国道9号、山陰本線荒島駅も近く交通の便は非常に良い位置に設置しています。また、豊かな自然に囲まれるとともに、古代王陵の丘にも近く、頂上から望む、中海周域は目をみはるものがあります。 本園は幼稚園、保育所を統合し、認定こども園として就学前の教育・保育を一体的に行っています。 〈第一園舎〉 1歳児から就学前の子ども達が、心を通わせる教育・保育のあり方、職員間の連携・協働の元で安全に留意しながらクラスを行き来し、子ども達の自然な交流を大切に支える交流内容・方法に心がけています。 〈第2園舎〉 令和4年度より地域子育て支援センター「どじょっこ」が併設されました。主に支援を要する子どもさんとそのご家族の皆さんの支援を行っています。相談対応・発達支援ルーム・障がい児一時預かり事業等の様々な活動を第二園舎で行っています。また、こども園の子ども達も継続した遊びや行事（げんきっこ祭り、わくわく発表会等）で使用したり、広い園庭で自転車に乗って遊んだりしています。 また、下記の教育推進も重点を置きながら、教育・保育を進めています。 ① ふるさと教育の推進 ・長寿会、童話のサークルの方々をはじめ地域の「人・物・自然」に触れ合いながら、ふるさとやそこで暮らす人々に親しみを持つ心を育む。 ・親子銭太鼓作り、安来節踊り、荒島踊りなどの郷土の文化芸能を体験し地域の方々と共に楽しむ。 ② 食を大切にする ・給食を通して「食べる」ことの大切さを知らせ、子ども達にとって現在、将来にわたって生きてくる活動の推進。 ・子ども達と栽培した野菜の収穫や近隣の山、畑で採らせて頂いた自然物（梅の実、たけのこなど）を自分たちの手で調理し食する喜びを味わう活動の推進。 ③ インクルーシブシステムを取り入れた教育・保育 それぞれの違いや個性を認め合い、支え、育ち合う保育を目指しています。
------------------	---

<施設の写真>

(第一園舎)

施設全景



園庭



保育室



(第二園舎)

施設全景



園庭



保育室

